

衆議院議員選挙

結局、与党はそのまま、野党が再編成されただけ。マスメディアの解析力、価値判断力の欠如、モラルの低下が如実に表れた選挙になった。「モリカケ隠し選挙」など、蕎麦屋じゃあるまいし、安倍さんの目はもっと視野が広い。ずっと以前から解散総選挙を考えていただけのことである。つまり安倍さんの中ではすでにこれらの問題は解決済みだったというよりも、朝日新聞やアホばかりのテレビ屋が話をややこしくしただけのことで、安倍さんに言わせれば「俺の知ったことではないことだらけ」である。新聞の罪は重い。安倍さんに朝日新聞の記者が加計学園問題について質問をしたら、「あなたの新聞は、加戸前知事の語ったことを記事にしましたか？」と言われて、しどろもどろになり、他の新聞の記者たちは満場失笑だったという。つまり、安倍憎しで、「真実を書かなかったのが朝日新聞だった」ということで、合同記者会見の場でそれを指摘されただけのことである。……それでも安倍支持率は、非支持よりも低いなどとしつこく繰り返す。

東京都知事の小池が新党を作る、そこで、代表選が話題にもならなかった民進党が小池新党に合流、といえはきれいすぎるが、要するに前原を初めとする旧民主党はもう浮かぶ瀬のない駄目な政党であることを白状したようなものである。小池は、なりたくて、何か仕事をしたいがために都知事になったのではないことは、普通の人間にはわかっていたことである。理解していなかったのは、東京都民だけだったというお粗末な一席だっただけのこと。都民ファーストにおどらされ、結局は自分ファースト。……大体緑のスーツをシンボルにするなど、大阪の人間から見れば笑かしよるな！という程度のもので、大阪では緑のスーツを着るのは、吉本新喜劇のアスパラガスの芸人くらいで、何かのコマーシャルにでている。

新聞が愚民を騙して戦争をするように仕向けた、と「永遠のゼロ」にあるが、世論（セロンまたはセイロン）を煽動したのが新聞である。日本経済新聞といえば、朝日などと比べるとずいぶんましな方だが、それでも「安倍 vs 小池」などとでかかで見出しにする。こんな失礼な話はない。安倍さんは、少なくとも5年以上行政の長である。田中角栄の言う「雑巾がけ」もしてきたし、同期の角栄の娘や野田聖子らが役職についているのになかなか認められなかった。森総理に認められて抜擢された。だから、先達の業績に謙虚な人柄になる。これまで経済、外交においても充分なまでの実績がある。たとえば、株価の上昇、失業率の低下、求人の増大、など幾多の実績があるし、外交においても世界をリードせんばかりの状況にある。では一方の小池はどうか？東京都知事になって1年、何かしましたか？何か、政策に斬新な面がありましたか？それをいきなり過半数をとる（予定、またはつもり）ほどの候補者を立て、総崩れ。かろうじて旧民主党のメンバーが遺っただけで、国民を舐めてはいけない。東京都民とは違います！おまけに離党者続出で、希望の党ではなく、絶望の党と揶揄されている。

それにしても、前原と言う男、ただ口に出すだけの実行力に欠けた脳天気な政治屋としか思えない。民主党政権下、八ッ場ダムはどうなった？ 直前になって新党に参加できなくな

った連中が新党を結成し、それなら初めから新党を立ち上げておけばまだしも、ダメになったからと慌ててつくるものだから、だれがいるのもわからない。まあ、日本の野党というのはその程度の人間の集まりでしかない。ふりかえれば、安全保障に関する法の制定でも必死になって反対を繰り返す、日本の先行きを考へての行動ではない。しばらく前まで党代表だったおネエちゃんは、国籍さえよくわかっていない。彼女が言う、尖閣は米国にまかせて内務の充実をやろう、とか事業仕分けでさんざん恥をかいたと思っているのに、しょうこりもなく、しゃしゃり出てくる。バカなことを言う、日本軍が尖閣を守らなければ、米軍の若者の命を賭けさせてどうするつもりなのだろう。発想がひっくり返っている。これではなあ……

小池は、失言で、というが、失言がなくてもいづれわかることである。若狭某など、政治の世界の常識さえない。それでも小池は、ほかに人がいなかったから秘書みたいな感覚で使っていたのだろうが、「見る目がない」ことがすぐバレる。女子高校生が、「不幸を一心に集めたような」人や、と読んでいた。

安倍一強を打破する、というが、現時点で安倍さんの代わりがいるのだろうか？ 石破さんですか？ あの自衛隊員全員が嫌っている。田母神さんが、「こいつだけは、総理にしてはいけない」と言った。ほかにだれがいます？ 小泉進次郎はまだ若すぎるし、適当な人が思い浮かばない。まさか「自分が」と言うんじゃないだろうな。（この項で、スタッフが小池のことですか？と尋ねる。文脈からみてそうとしか考えられないだろう？）それこそ、民主党政権よりも危険だ。国家の運営は、独裁ではできない。必ず、優れた補佐役がいての話。お前に安倍さんほどの見識、政治理念、人格、品性、戦略眼があるわけでもなし、日本をこうしたいという夢があるわけでもなし、哲学は「強い人にくっついていく」だけだし、第一政権運営の能力がない。優れた外交感覚もないし、もうないか？ 見た目、品がない。知性も怪しいものだし、実行力もない。風格が感じられない。……ボクは、こういう手合い、つまり次の権力者に尻尾を振っていく人間が大嫌いなんだ。山ほど、その実例をみてきたからな、ゴマすりだけで偉いさんになっていく連中を。

（安倍 vs 小池で思いだしたのが、阪神のバースがホームラン 40 本を超えたとき、スポーツ記者が「これから原選手とホームラン数の競争になるんですね」と口走った。以前に新聞記者は頭が悪い、と書いたが、スポーツがつくともうひとつ下になる。バースが言う、「原は 1 シーズンでホームランを 40 本以上打ったことがない選手なのに、なぜ俺のライバルなんだ！」）

今回のことで明らかになったことは、繰り返しになるが、小池はやりたいことがあって東京都知事になったわけではなかった。だから、都民は白けるし、都職員の士気は阻喪するし、ではなぜ立候補したか。自民党にいれば、第二次以降の安倍政権においては、防衛大臣のときの無能さや安倍さんを見限ったことで、二度と芽が出る可能性がない。だから、まさか安

倍さんが復権するとは読めなかったから石破さんに投票した。その時の全体の雰囲気もそうだったのだが、いろいろあった末に安倍さんの本当の意味での出番がやってきたのだ。

「しがらみのない政治」などと絵に描いた餅みたいなことをいっていないで、安倍さんのように、先人たちが築いてきたことに対する感謝の念をもち、経済の活性化にしても失業者の激減、求人率の飛躍的な向上、株価の急上昇、戦後最高の世界外交への貢献、北朝鮮による国難への取り組み方、などなど安倍さんでよかった、と思えることだらけの時代である。化け狸がうろうろ邪魔をしないでほしい。

のちになってわかったことなのだが、東京都民はホンマにアホやで。あの売国奴の菅ナニガシが選挙に勝っている。まだわかってへんねんな。こいつこそ国賊ではないか！

事実かどうか、民主党政権の3代目の野田総理は、惨敗するのを覚悟の上で解散したのだという。なぜなら、もうこれ以上民主党政権を続けると、本当に国家の危急存亡の秋がくる、と考えたからだというし、野田さんも否定しなかったという。これには驚いたのだが、もっとも賢明な出处進退である。こういう優れた先人がいたから、現在の日本がある。仇や疎かに考えるべきではない。国民もわかってきていると思いますが。

2017.11.10..